

北野の里（仮称） ゾーニング 案

北野の里（仮称）では、里全域において景観・環境・地域文化・食育・防災等さまざまな視点から、今ある緑や農地等を守り「つないでいく」ことで、北野の魅力を次世代へ引き継いでいきます。また、蓋かけ上部空間などにおいては、北野をつなぐコミュニティの中心として、子どもから高齢者まで、地域の多世代交流の場を創出し、周辺地域へ魅力・活力を発信していきます。

北野の里（仮称）が、三鷹市における新たな緑と農とコミュニティの拠点として、50年後、100年後も未永く親しまれるために、地域のみなさんの手で、守り、はぐくむ場所としていきます。

重なり関連し合うゾーニング

それぞれのゾーンが重なり、関連し合って、北野の里（仮称）の全体を構成します。

農とみどりの憩い

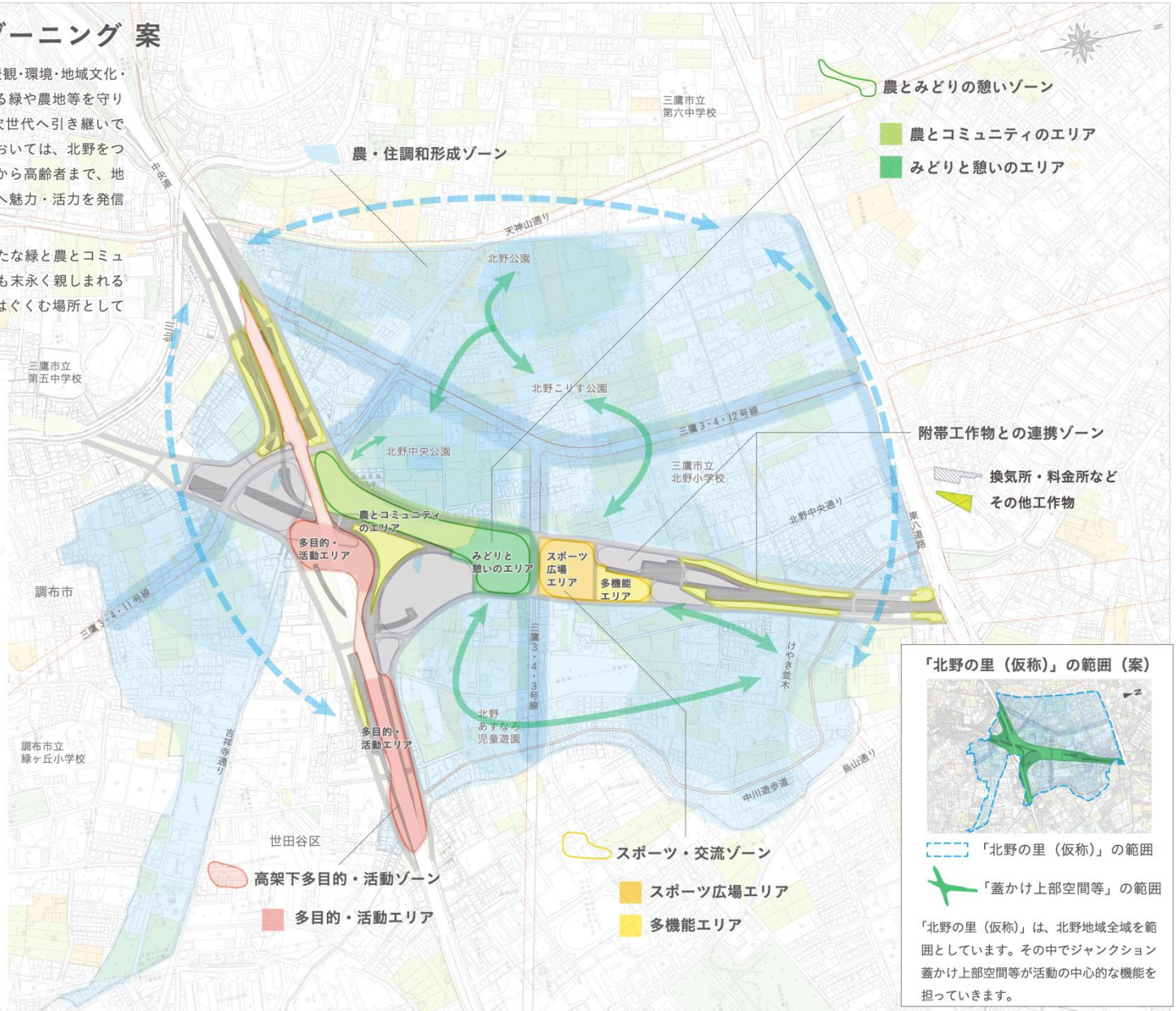
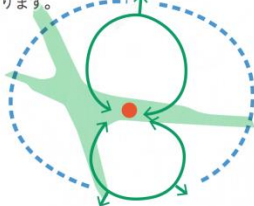
スポーツ・交流

高架下
多目的・活動

農・住調和
形成ゾーン
など

北野の里（仮称）の回遊ルート

北野の里（仮称）の景観資源を体感したり、人と出会い交流することのできる小径をつくります。



「北野の里（仮称）」の範囲（案）



- 「北野の里（仮称）」の範囲
- 「蓋かけ上部空間等」の範囲

「北野の里（仮称）」は、北野地域全域を範囲としています。その中でジャンクション蓋かけ上部空間等が活動の中心的な機能を担っていきます。

中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部空間等ゾーニング案

北野の里（仮称）の中心に位置する中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部空間等について、国及び東京都は、平成 21 年度に策定した東京外かく環状道路における「対応の方針」において、「蓋かけ部の上部の整備については、設計段階から、地域のみならず意見を十分に聴きながら地域特性や市のまちづくり計画にも配慮し、公園または緑地的な利用が可能となるよう検討し、市の意向を踏まえ、関係機関等との調整に努める」としています。

また、「事業実施段階における整備主体や整備後の管理主体については、具体的な検討内容を踏まえながら市と十分協議する」としています。

中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部空間等ゾーニング案は、「対応の方針」に基づき、北野の里（仮称）の実現に向けて平成 25 年度及び平成 28 年度に市、国及び東京都との協働で開催したワークショップ等において、市民よりいただいたご意見を反映し、市が取りまとめたものです。

北野の良好な景観づくりの中心となる蓋かけ上部空間等をめざし、本ゾーニング案を事業者である国、東京都及び高速道路株式会社に提案し、引き続き事業者との協働により、国が実施するジャンクション整備と一体的に北野地域のまちづくりに取り組んでいきます。

